
【NITEケミマガ】 NITE化学物質管理関連情報 第214号

2014/10/1配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

連絡先：chem-manage@nite.go.jp

----- 9/22～9/28の更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2014/09/24】

- ・韓国化学物質管理協会(KCMA)との覚書を締結しました。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/kanren/pdf/140924kcma.pdf>

標記お知らせを掲載しました。韓国化学物質管理協会(KCMA)とNITEは、化学物質管理分野での友好的協力関係を構築するため、覚書(MOU)に署名をしました。

【2014/09/25】

- ・「平成24年度PRTR届出データの過年度との比較報告書」を掲載しました。

→ <http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/prep24.html>

標記報告書を掲載しました。

【2014/10/1】

- ・HESSの基本操作及び新しい機能の紹介に関する講習会の開催のお知らせ
(平成26年10月21日)

→ http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess_kousyukai_05_2.html

下記の要領で標記講習会を開催します。

日時：10月21日（火）10:00 - 17:30

場所：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 本館4階会議室（南1,2会議室）

プログラム：

- ・HESS及びHESS DBの概要紹介、基本操作
- ・操作実習：Read-acrossによる反復投与毒性の予測
- ・HESSに追加された新しい機能の紹介
- ・ユーザーデータの追加方法

- ・ HESSを用いた有害性評価事例

●官報情報

【2014/09/26】

- ・ 労働安全衛生法第五十七条の三第三項の規定に基づき新規化学物質の名称を公表する件(厚生労働三七二)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140926/20140926g00212/20140926g002120084f.html>

標記告示が掲載された。

●厚生労働省

【2014/09/22】

- ・ 第4回化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000058011.html>

9月30日に標記会合が開催される。議題は、平成25年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について。

【2014/09/25】

- ・ 食安輸発0925第5号「平成26年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について(ガーナ産カカオ豆のフェンバレレート、韓国産鰻のオフロキサシン及び中国産花椒のアフラトキシン)

→ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinzenbu/0000059162.pdf>

標記資料が掲載された。

【2014/09/25】

- ・ 石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会 第90回検討会 開催案内(非公開)

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000059009.html>

10月2日に表記会合が開催される。議題は、(1)個別労災請求事案に係る医学的事項について など。

●国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)

【2014/09/24】

- ・ EUリスク評価書(EDTA四ナトリウム、ブタ-2-イン-1,4-ジオール、4-tert-ブチル安息香酸、メタクリル酸メチル)の翻訳を掲載しました。

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/euindex.html>

標記資料が掲載された。

【2014/09/24】

- ・ AEGL(急性曝露ガイドライン濃度)の設定値と設定根拠文書(クロロホルム、N, N-ジメチルホルムアミド、臭化メチル、塩化メチル、プロパン、塩化ビニル、メチルエチルケトン、ブタン、クロロアセトアルデヒド、クロロメチルメチルエーテル、クロロベンゼン、フラン、ビス(クロロメチル)エーテル)の要約部分の翻訳を掲載しました。

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/aegliindex.html>

標記資料が掲載された。

●環境省

【2014/09/22】

- ・ 中央環境審議会環境保健部会石綿健康被害判定小委員会及び同小委員会審査分科会の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18679>

標記会合が開催される。

1. 石綿健康被害判定小委員会審査分科会(第214回)(非公開)

(1)日時 10月6日(月)15:00～18:00

(2)会場 環境省環境保健部石綿健康被害対策室会議室

(3)議題 医学的判定に係る整理(中皮腫・肺がん)

2. 石綿健康被害判定小委員会審査分科会(第215回)(非公開)

(1)日時 10月24日(金)13:30～16:30

(2)会場 環境省環境保健部石綿健康被害対策室会議室

(3)議題 医学的判定に係る整理(中皮腫・肺がん)

3. 石綿健康被害判定小委員会(第122回)(非公開)

(1)日時 10月29日(水)17:00～21:00

(2)会場 環境省環境保健部石綿健康被害対策室会議室

(3)議題 医学的判定に係る調査審議(中皮腫・肺がん・石綿肺・びまん性

胸膜肥厚)

【2014/09/24】

- ・「短寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化の国際パートナーシップ (CCAC) 第5回閣僚級会合」の結果について (お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18697>

標記情報が掲載された。

【2014/09/25】

- ・第69回国連総会サイドイベント"The Minamata Convention on Mercury: Towards its early entry into force and effective implementation" (「水銀に関する水俣条約：早期発効と効果的な実施に向けて」)の結果について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18695>

9月24日に開催された標記イベントの結果が掲載された。

【2014/09/25】

- ・ゴルフ場で使用される農薬に係る平成25年度水質調査結果について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18670>

標記資料が掲載された。

●農林水産省

【2014/09/24】

- ・「飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令」の一部改正案についての意見・情報の募集

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?>

[CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550002003&Mode=0](http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=550002003&Mode=0)

9月24日から10月27日までの間、標記の意見募集が行われる。

今般、農薬成分であるアラクロール、アルジカルブ及びフェンチオンの食品健康影響評価が行われ、当該評価結果(一日摂取許容量(ADI)の設定等)や、現在の当該農薬成分を含む農薬の使用方法を踏まえ、当該農薬成分の飼料原料に係る規格を改正するにあたり実施される。

●内閣府食品安全委員会

【2014/09/24】

・ 第93回 肥料・飼料等専門調査会 配付資料

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140924ff1>

9月24日に標記会合が開催された。議題は、

(1)動物用医薬品(スピラマイシン)の食品健康影響評価について など。

【2014/09/25】

・ 食品安全委員会(第531回)の開催について

→ <http://www.fsc.go.jp/osirase/annai531.html>

9月30日に標記会合が開催される。議題は、

(1)農薬専門調査会における審議結果について

・ キンクロラック、シモキサニル、セダキサン、トルプロカルブ
に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について など。

【2014/09/25】

・ 食品安全委員会 化学物質・汚染物質専門調査会 化学物質部会(第6回)の
開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/kagaku_osen_chemisub_annai6.html

10月3日に標記会合が開催される。議題は、

(1)加熱時に生じるアクリルアミドの食品健康影響評価について など。

【2014/09/25】

・ 食品安全委員会 農薬専門調査会評価第四部会(第39回)の開催について(非公開)

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_hyouka4_39.html

10月6日に標記会合が開催される。議題は、

(1)農薬(プロヘキサジオンカルシウム塩)の食品健康影響評価について など。

●中小企業基盤整備機構

【2014/09/26】

・ [J-Net21]REACH コラム：新情報伝達スキーム「SHELPA(仮称)」について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/140926.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/09/26】

・ [J-Net21]REACHコラム:Q.438 2年以上前に納品した部品が日本において製品在庫になっているとして、顧客より第11次SVHCの調査依頼がありました。納品時にSVHC調査に対応していますが、改めて調査をしなければならないのでしょうか？

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/438.html>

標記Q&Aが掲載された。

●国立環境研究所(NIES)

【2014/09/24】

・ 上智大学・国立環境研究所連携講座

「環境科学特別講座－研究最前線からの報告－」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.nies.go.jp/event/2014/renkeikoza/2014/index.html>

全4回13講座を開講(10月18日、11月15日、12月20日、1月17日)。

様々な環境問題について国立環境研究所の現役研究者が分かりやすく解説する。参加費は無料だが、ウェブページからの事前参加登録が必要。

(各講座先着200名)

●農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

【2014/09/25】

・ [メールマガジン]バックナンバーに第551号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No551.pdf

標記お知らせが掲載された。

【2014/09/26】

・ 農薬登録情報ダウンロードを更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/index.htm>

標記情報が更新された。

●経済協力開発機構(OECD)

【2014/09/25】

- ・ OECD launches its knowledge base on Adverse Outcome Pathways

→ <http://www.oecd.org/env/ehs/launch-adverse-outcome-pathways-knowledge-base.htm>

OECDは、米国EPA及びEuropean Commission Joint Research Centreと共同で、毒性発現メカニズムを考慮したAOP理論(Adverse Outcome Pathway)の技術的プラットフォームとなるAdverse Outcome Pathway Knowledge Base (AOP KB)を発表した。AOP KBにおける情報は、産官学すべてのステイクホルダーが利用でき、かつ情報提供やコメントをすることが可能である。

【2014/09/26】

- ・ OECD Guidance on the GLP Requirements for Peer Review of Histopathology

→ <http://www.oecd.org/env/ehs/testing/Guidance-GLP-requirements-peer-review-histopathology.pdf>

標記資料が掲載された。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2014/09/23】

- ・ ECHA provides advance notice on substances being considered for risk management

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-provides-advance-notice-on-substances-being-considered-for-risk-management

ECHAは、今後リスク管理の候補物質について事前に公表することを発表した。情報は、Public Activities Coordination Tool(PACT)に掲載される。

Public Activities Coordination Tool(PACT)

→ <http://echa.europa.eu/web/guest/addressing-chemicals-of-concern/substances-of-potential-concern/svhc-roadmap-implementation-plan/pact>

【2014/09/23】

- ・ ECHA publishes a Practical Guide on the Biocidal Products Regulation

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-publishes-a-practical-guide-on-the-biocidal-products-regulation

ECHAは、殺生物性製品規則(BPR)に関するpractical guideを公表した。

なお、今回の公表はguideの全体ではなく、一部未公表の章は10月末に公表される予定である。

【2014/09/24】

- ・ Official Article 95 list for biocides published

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/official-article-95-list-for-biocides-published

ECHAは、殺生物性製品規則(BPR)の95条の正式リストを公表した。

【2014/09/24】

- ・ ECHA e-News -24 September 2014

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/e-news-24-september-2014

ECHAは、9月24日付けでe-Newsを掲載した。内容は、今後リスク管理の候補物質について事前に公表することとなった件、など。

【2014/09/25】

- ・ Easily accessible trade data on hazardous chemicals now available

→ http://www.echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/easily-accessible-trade-data-on-hazardous-chemicals-now-available

PIC規則下での有害化学物質の輸出入に関する情報がECHAのウェブサイトで公開された。これにより、2003年以降EDEXIMに格納されていたすべてのデータの閲覧等が可能になる。

【2014/09/26】

- ・ Harmonised classification and labelling current consultations

→ <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは以下の4物質について、CLH(調和化された分類・表示)案のパブリックコンサルテーションを開始した。コメント提出期限は11月10日。

- ・ Cyanamide(CAS No.420-04-2)
- ・ dibutyltin dilaurate(CAS No.77-58-7)
- ・ fipronil (ISO); 5-amino-1-[2,6-dichloro-4-(trifluoromethyl)phenyl]-4-

[(trifluoromethyl)sulfinyl]-1H-pyrazole-3-carbonitrile
(CAS No.120068-37-3)

- ・ quinolin-8-ol; 8-hydroxyquinoline(CAS No.148-24-3)

●欧州化学物質生態毒性・毒性センター (ECETOC)

【2014/09/24】

- ・ SETAC Special Symposium on "Bioavailability of Organic Chemicals; Linking Science to Risk Assessment and Regulation

→ <http://www.ecetoc.org/index.php?mact=Newsroom.cntnt01.details.0&cntnt01documentid=256&cntnt01returnid=76>

10月14-15日、有機化学物質のバイオアベイラビリティに関するシンポジウムがブリュッセルで開催される。

●米国環境保護庁(US EPA)

【2014/09/22】

- ・ Publication: Child-Specific Exposure Scenarios Examples (Final Report)

→ <http://cfpub.epa.gov/ncea/risk/recordisplay.cfm?deid=262211>

米国EPAは小児特有の化学物質への暴露シナリオに関する報告書を公表した。

【2014/09/25】

- ・ IRIS Toxicological Review of Benzo[a]pyrene (BaP) (External Review Draft)

→ http://cfpub.epa.gov/ncea/iris_drafts/recordisplay.cfm?deid=280022

米国EPAは、IRISにおけるベンゾ[a]ピレン(BaP)の毒性報告書の外部レビュー案を公表した。

【2014/09/25】

- ・ EPA proposed a Significant New Use Rule which would require EPA review of 15 nonylphenols (NPs) and nonylphenol ethoxylates (NPEs) before reintroducing these chemicals into commerce.

→ http://www.epa.gov/oppt/existingchemicals/pubs/PREPUB_NP-NPE_SNUR_NPRM_04T-0140.pdf

米国EPAは、ノニルフェノール及びノニルフェノールエトキシレート15物質のSNUR(重要新規利用規則)の提案を公表した。

【2014/09/26】

- ・ Next Generation Risk Assessment: Incorporation of Recent Advances in Molecular, Computational, and Systems Biology
→ <http://cfpub.epa.gov/ncea/risk/recordisplay.cfm?deid=286690>

米国EPAは、分子生物学等の新しい知見を導入し、低コストで効率的な化学物質リスク評価システムを構築することを目的とした「次世代リスク評価(Next Generation Risk Assessment)」に関する報告書を公表した。

●セミナー情報

【製品評価技術基盤機構】

- ・ HESSの基本操作及び新しい機能の紹介に関する講習会の開催のお知らせ
(平成26年10月21日)
→ http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess_kousyukai_05_2.html

下記の要領で標記講習会を開催します。

日時：10月21日（火） 10:00 - 17:30

場所：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 本館4階会議室（南1,2会議室）

プログラム：

- ・ HESS及びHESS DBの概要紹介、基本操作
- ・ 操作実習：Read-acrossによる反復投与毒性の予測
- ・ HESSに追加された新しい機能の紹介
- ・ ユーザーデータの追加方法
- ・ HESSを用いた有害性評価事例

【国立環境研究所(NIES)】

- ・ 上智大学・国立環境研究所連携講座
「環境科学特別講座－研究最前線からの報告－」の開催について(お知らせ)
→ <http://www.nies.go.jp/event/2014/renkeikoza/2014/index.html>

全4回13講座を開講(10月18日、11月15日、12月20日、1月17日)。

様々な環境問題について国立環境研究所の現役研究者が分かりやすく解説する。参加費は無料だが、ウェブページからの事前参加登録が必要。

(各講座先着200名)

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。
→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>
- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。
→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。
配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html
- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。
chem-manage@nite.go.jp

- 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。
→ chem-manage@nite.go.jp
- 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター